

## 歌志内市ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地では、記録的な台風や猛暑、洪水、大規模な山火事など異常気象による災害が多発しており、我が国においても、巨大台風、局地的な豪雨等により、各地で甚大な被害が発生するなど、地球温暖化による気候変動の影響が顕在化してきています。

こうした状況を踏まえ、2015年に国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）では、地球温暖化の主な要因と考えられる二酸化炭素の削減へ世界が協力して取り組むため「パリ協定」が採択され、産業革命以前に比べ、平均気温の上昇を1.5℃までに抑える努力目標が決定されました。また、国は、2020年10月に2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

こうしたなか、私たち一人ひとりが今まで以上に地球環境に強い危機感を持ち、地球温暖化の原因である二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出量を削減し、脱炭素社会への取り組みが重要であります。

歌志内市においては、「住みたいまち、次世代に誇れるまちの実現」をスローガンに、私たちのかけがえのない故郷を未来の世代により良い姿でつないでいくために、市民・事業者・行政が一体となって、脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和5年2月27日

歌志内市長

柴田一孔